

2024年4月 (株)三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上速報



2024年5月1日

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしました。売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来の総売上高で開示いたします。

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	117.6%	117.6%
三越日本橋本店 店頭	110.8%	110.8%
三越銀座店	129.1%	129.1%
伊勢丹立川店	97.0%	97.0%
伊勢丹浦和店	90.6%	90.6%

	前年比	4月累計
(株)三越伊勢丹 計 ①	115.2%	115.2%

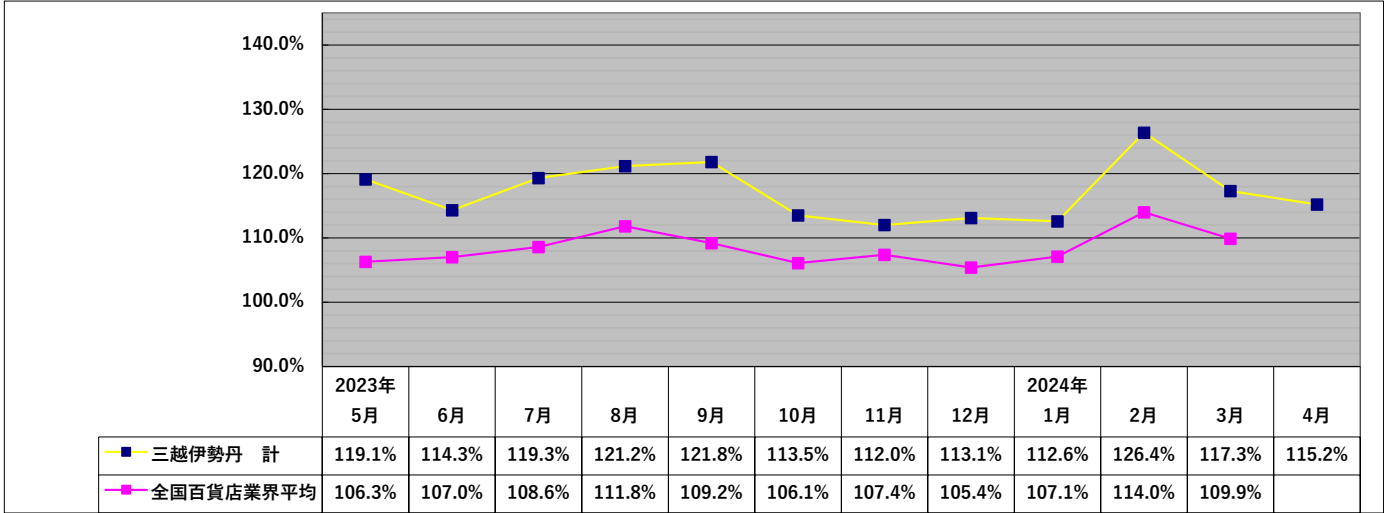
グループ百貨店事業会社	前年比	4月累計
札幌丸井三越	101.6%	101.6%
函館丸井今井	109.6%	109.6%
仙台三越	89.1%	89.1%
新潟三越伊勢丹	97.0%	97.0%
静岡伊勢丹	92.6%	92.6%
名古屋三越	104.2%	104.2%
広島三越	83.7%	83.7%
高松三越	104.2%	104.2%
松山三越	96.4%	96.4%
岩田屋三越	116.1%	116.1%

	前年比	4月累計
国内グループ百貨店 計 ②	104.6%	104.6%

	前年比	4月累計
国内百貨店 計 (①+②)	111.3%	111.3%

過去1年間の月別売上高（前年比）推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

※数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- 伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店を中心に、引き続き高付加価値商品の売上が牽引し、売上前年比は(株)三越伊勢丹計で115.2%、国内百貨店計で111.3%であった。また、両本店・三越銀座店の3店舗共に10ヵ月連続で2018年度を上回る実績で推移している。
- 先月までと同様に、ラグジュアリーブランドやデザイナーズブランドの衣料品、ハンドバッグ、宝飾、化粧品などが引き続き好調。また、後半の気温上昇に伴い例年と比較して夏物アイテムへの関心が高く見られた。加えて、各店で実施した様々な独自性の高いイベントも集客につながり、売上を牽引した。
- 免税売上は、国内百貨店計（既存店）で単月最高売上高だった昨年12月を大きく更新。全体購買傾向と同様にラグジュアリーブランドのハンドバッグや財布、宝飾・時計、化粧品など高付加価値商品への関心が引き続き高い。

お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】 TEL：050-1704-0684
【同 IR担当】 TEL：080-7577-7640/090-8593-0298/080-2082-2767/080-2082-2777